

非ウイルス性を含めた肝疾患のトータルケアに資する人材育成等に関する研究との連携

研究分担者：江口 有一郎

ロコモディカル総合研究所

研究要旨：肝炎の予防及び医療に携わる人材として肝炎医療コーディネーター（肝Co）が令和4年度までに全国47都道府県で合計約3万人が養成されてきたが、令和元年度までの研究班での活動事例について半構造化面接手法等を用いた全国規模での質的・量的調査や厚生労働省の全国調査によれば、肝Coの配置や活動度合は十分と言える状態ではないことも判明した。また、ウイルス性肝疾患のみならず非ウイルス性の肝疾患の増加している中、それらの疾患の掘り起こしから受検・受診・受療・フォローアップの促進に肝Coのさらなる活動向上は意義が期待される。そこで、肝Co等の人材育成における適切な養成方法や配置、効果的な活動の方策について、それぞれの地域特性も鑑みながら明らかにした。また配置や効果的な活動においては2次医療圏等をひとつの単位として評価することについての意義を明らかにした。また、職種別、配置場所別の知識面・活動度合等の質的な評価方法の策定と現場における実際の評価に応じた改善策を明らかにして、活動評価のための肝Coフォローアップシステムの開発を進めた。さらに、近年、ウイルス性肝疾患のみならず非ウイルス性の肝疾患の増加している現状も踏まえて肝疾患のトータルケアに資する人材育成の方策を進めてきた。

A. 研究目的

肝炎の予防及び医療に携わる人材として肝炎医療コーディネーター（肝Co）が令和2年度までに全国47都道府県で約3万人が養成されてきたが、令和元年度までの研究班での活動事例について半構造化面接手法等を用いた全国規模での質的・量的調査や厚生労働省の全国調査によれば、肝Coの配置や活動度合は十分と言える状態ではないことも判明した。一方では、ウイルス性肝疾患のみならず非ウイルス性の肝疾患の増加している中、それらの疾患の掘り起こしから受検・受診・受療・フォローアップの促進に肝Coのさらなる活動向上は意義が期待される。そこで、本研究では、（1）肝Co等の人材育成における適切な養成方法や配置、効果的な活動の方策について、それぞれの地域特性も鑑みながら明らかにする。また配置や効果的な活動においては2次医療圏等をひとつの単位として評価することについての意義を検証する。

（2）職種別、配置場所別の知識面・活動度合等の質的な評価方法の策定と現場における実際の評価に応じた改善策を明らかにして、活動評価のための肝Coフォローアップシステムの開発を目指す。（3）近年、ウイルス性肝疾患のみ

ならず非ウイルス性の肝疾患の増加している現状も踏まえて肝疾患のトータルケアに資する人材育成の方策を明らかにすることを目的とした。

B. 研究方法

（1）北海道・東北・関東・中部・北陸・関西・中四国・九州・沖縄を代表する班員の地域における肝Coの配置と活動の現状の調査を、特にいわゆるスケールが大きな活動ではなく、個々の肝Coの本来業務の延長線上で行なっている活動の事例の詳細調査を行なった。また「兵庫モデル」として、2次医療圏をひとつの単位としてそれぞれの医療圏に所在する専門医療機関に所属する肝Coを県のコア肝Coとして、またその支援を県および拠点病院が行いながら、県全体の配置および活動の向上を進める定例会をオンラインで開始し、またMAP化による見える化の推進を進め、2次医療圏ごとの評価が適切な単位であることを検証した。

（2）初版の肝Coポケットマニュアルが受検・受診・受療・フォローアップ、差別や偏見といった視点での構成であったため、新規に職種ごとと比較的に取り掛かりやすい活動に重きを置いて、①職種ごと（16職種）・②取り掛かり

やすい活動・③患者および患者会肝Coに特化した複数のポケットマニュアルの作成をオンラインまたは現地での座談会形式およびピアレビュー方式で作成した。今後のオンライン化、DX（デジタルトランスフォーメーション）を踏まえ、地域全体の肝Coの意見交換や拠点病院や都道府県からの情報発信、活動アンケート等を行うために、代表的なソーシャルネットワーキングサービス（SNS）のひとつである「LINE」を用いた「肝炎医療コーディネーター応援公式LINEアカウント」を作成し、佐賀県、埼玉県、熊本県に加え、山口県、兵庫県、新潟県、北海道、茨城県、沖縄県また一般・患者会向けで情報共有としての運用を開始し、情報発信のみならず、養成やスキルアップの研修会の参加登録案内、活動収集ツール、都道府県の肝疾患の制度等の説明サイトへの誘導するリッチメニューという機能の付加等によりより具体的に活用し、活動アンケート等も実施した。

（3）肝炎医療コーディネーターによる脂肪性肝疾患（NAFLD・MAFLD）に対する運動療法プログラム、ツールを開発し、それらを用いた啓発と介入についての実証実験を行った。

C. 研究結果

1. 肝Coの配置と効果

中央部門として考藤・是永が全国的な視野、肝炎情報センターとしての役割に則り、現状調査と活動支援等を継続的に行なってきた。地域部門として2年目から3年目は、特に「2次医療圏」を単位とした視点において北海道、東北地区（岩手）、甲信越地区（山梨）、関東地区（埼玉）、中部地区（静岡）、北陸地区（福井）、関西地区（兵庫）、中四国地区（山口）、九州地区（福岡・熊本）、沖縄が各自治体での配置や活動に関する現状を調査した。ただし3か年に亘りCOVID-19蔓延化が様々な影響を及ぼした。

2. 2次医療圏配置Mapシステムの開発

肝Coの全国47都道府県での2次医療圏配置Mapシステムを製作し（<https://sagaweb.jp/map/>）、全国の拠点病院での活用を果たした。また3年目では、2次医療圏を1単位とした配置に関する評価や計画に有用性を拠点病院班員の自治体で確認した。本件については、令和3年5月の厚生労働省肝炎対策推進協議会および同年7月の国立

国際医療研究センター拠点病院等連絡協議会医師向け研修会、日本肝臓学会総会、拠点病院連絡協議会、令和4年公益財団法人 宮川庚子記念研究財団研修会、令和4年国立感染症研究所肝炎ウイルスセミナー、日本消化器病学会総会、支部例会等で提言した。

以下は沖縄県の状況を示す。

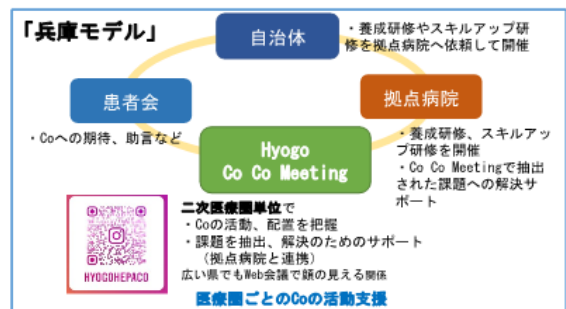


以下は兵庫県の状況を示す。

2次医療圏単位推進「兵庫モデル」での実証 兵庫医大 飯島孝子 班員



「令和元年度各都道府県におけるフォローアップ、相談等の支援体制に関する実証調査」（厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課 肝炎対策推進空間）のデータを元に研究で作成



- ▶ 地域の医師会、専門医、医療機関との調整を拠点病院が担う
- ▶ コンセプトを都道府県に説明し、協力要請を拠点病院が行う

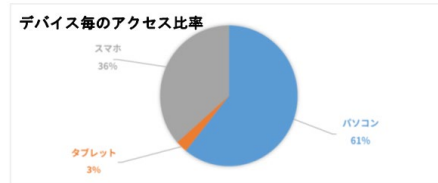
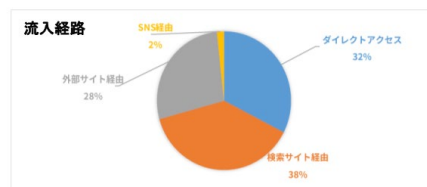
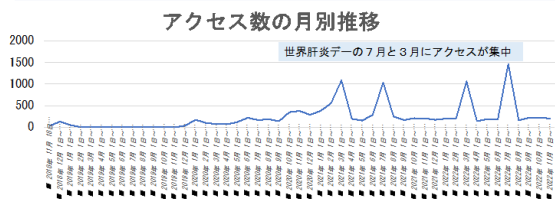
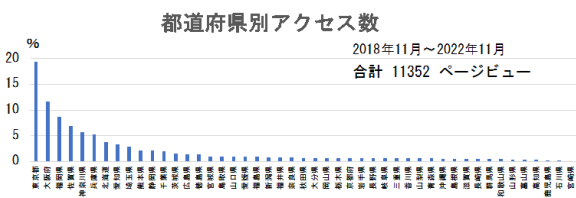
2月以降、拠点病院、県で、2次医療圏の市町村、医師会、専門医療機関、専門医、肝Coへ説明会に伺う予定

3. 肝炎医療Co活動支援

地域の特性に応じた適切な養成やスキルアップの方法として、これまで多職種から構成される肝Coに向けて、多様なツールや方法を上梓し、内容、構成、コンテンツの一般向けへの全面改修を行い、公開し、またアクセス解析を実施した (<https://kan-co.net>)。下図はポータルサイトのトップページを示す。



アクセス解析では、例年、世界肝炎デーが開催される7月、また年度末の3月にアクセス集中のピークを認めた。また流入経路および使用したデバイスの解析を行った。



第55回日本肝臓学会総会からメディカルスタッフセッションが開催され、全国の活動事例が広く発表されることとなり、その活動を全国へ参考事例として水平展開するために、メディカルスタッフセッション記録集を、本3か年では、第57回、第58回日本肝臓学会総会でのメディカルスタッフセッション記録集を作成した。

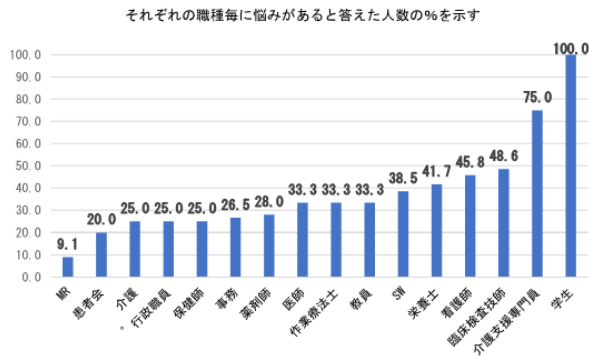
第57回、58回日本肝臓学会総会メディカルスタッフセッションの記録集作成



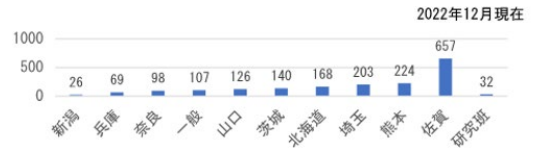
以下は、第58回日本肝臓学会メディカルスタッフセッションに対する記録集のデジタルブックのQRコードを示す。



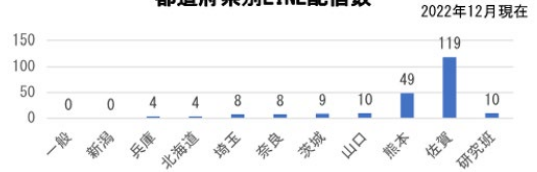
活動に悩みがある（職種別）



肝炎医療Co活動応援団登録数（1850名）



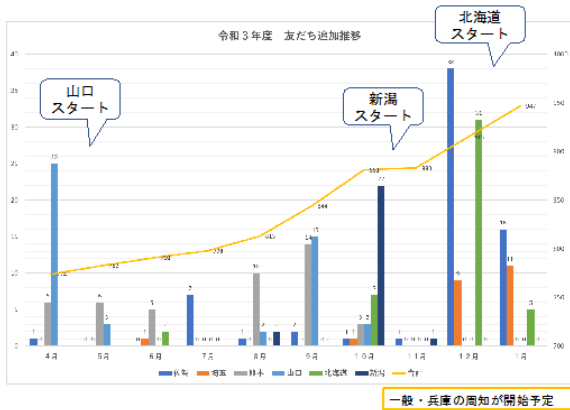
都道府県別LINE配信数



以下にQRコードは一般・患者会向けを示す。



3か年目の令和4年12月現在、1850名の登録数に達した。



4. 肝Coの活動や定期検査助成制度への方策

肝Coの活動や定期検査助成制度 (<https://youtu.be/Gb8Wwbqhgze>) および肝がん重度肝硬変医療費助成制度の理解や患者向け、また非ウイルス性肝疾患やエビデンスに基づく肝疾患に適した運動療法について肝Co向けLINEやポータルサイトで視聴可能な動画コンテンツの作成を行い、全国展開を行った。

(<https://youtu.be/9bEP4rsgNlo>)。

5. 非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) やアルコール性肝障害 (ALD) に対する肝Coによる支援

非ウイルス性肝疾患である非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) やアルコール性肝障害 (ALD) に対する肝Coによる継続的なサポートに資する肝Coに対する同疾患への講習手法開発

(<https://sagankan.med.saga-u.ac.jp/general/1890.html>)、啓発資料 (https://sagankan.med.saga-u.ac.jp/fatty_liver/1413.html) 作成及び好事例の発信を継続した。

D. 考察

1. 研究の3つの柱

本研究班は、以下に示す3つの柱に沿って実施した。

非ウイルス性を含めた肝疾患のトータルケアに資する人材育成等に関する研究

本研究3つの柱

1. 適切な養成方法や配置、効果的な活用の方策を、それぞれの地域特性も鑑みながら明らかにする。
2. 職種別、配置場所別の知識面・活動度合等の質的な評価方法として肝Coフォローアップシステムの開発を目指す。
3. ウイルス性肝疾患のみならず近年増加している非ウイルス性肝疾患（NASH, ASH）の現状も踏まえて肝疾患のトータルケアに資する人材育成の方策を明らかにする。

2. 肝炎医療Coの配置と活用のための単位

「2次医療圏」を単位とした肝Coの配置と活用は、推進の評価と改善の方策に効果的である可能性があり、全国展開へ向けた提言の発信を行った。

肝Coの配置状況

全国の335の二次医療圏単位での肝炎医療Coの配置状況をMAP化

<https://sagaweb.jp/map>

- ✓ 「二次医療圏」を1単位とした配置目標は地域の均てん化に妥当である。
- ✓ 「二次医療圏」ごとに専門医療機関が存在する都道府県が多い。
- ✓ 課題が明らかになる→速やかな拡充に有意義である。

- 「兵庫モデル」をはじめ、全国を網羅する班員都道府県で意義を確認した。
- 肝炎対策推進協議会、日本肝臓学会総会、拠点病院連絡協議会、令和4年公益財団法人 宮川庚子記念研究財団研修会、令和4年国立感染症研究所肝炎ウイルスセミナー、日本消化器病学会等で提言した。

3. マニュアルやコンテンツ開発

すでに約3万人が養成され、肝Co向けにポケットマニュアル概論編の第2版の上梓、展開を開始した。

肝炎医療コーディネーターポケットマニュアル（第2版）



- 肝Coポケットマニュアル第1版と、番号を合わせ、新たな項目を追加して最新の情報にアップデート。
- 最低限必要な知識の確認テストとして、チェックリストなどの付録も拡充
- 肝Coだけでなく、医学科などの授業にも展開することを次年度検討

16職種および患者会・一般肝Co向け、取り掛かりやすい活動等のポケットマニュアルのニーズが高いことが確認されたため、作成を行い、全国展開を開始した。

肝炎医療コーディネーター職種別マニュアル



対象職種

1. 看護師（外来・病棟・管理職）
2. 事務
3. 院内薬剤師
4. 薬局薬剤師
5. 臨床検査技師
6. 診療放射線技師
7. 理学療法士
8. 医療ソーシャルワーカー
9. 栄養士
10. 相談員
11. 健診部門
12. 歯科部門
13. 行政
14. 患者会

- ✓ それぞれの職種同士で活動について議論し、職種毎の強み、できる活動について検討した内容を掲載。
- ✓ 1ページには職種毎の強みを記載。他の職種の強みを知ることで、つなげ先が明確化する。
- ✓ 2ページ目は職種毎のファーストステップ活動（最初に取り組みやすい内容）についてを明示。3ページ目から4ページ目は同職種に向けた活動のコツや、先輩からのメッセージを記載した。

4. 非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）やアルコール性肝障害（ALD）に対する肝Coによる支援

非ウイルス性肝疾患である非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）やアルコール性肝障害（ALD）に対する肝Coによる継続的なサポートに資する講習手法開発、啓発資材、好事例の紹介をポータルサイトやマニュアル、リーフレット作成を進め、全国展開と効果測定を行った。

コンテンツ開発と運用と効果検証

久留米大 川口 巧班員、佐賀大 高橋宏和班員
熊本大 田中靖人班員、琉球大 前城達次班員ら



脂肪肝診断をきっかけとしたエコサイクルへの流入

ポケヘパ

非ウイルス性肝疾患を対象とした肝Coによる受検、受診、受療、フォローアップ、予防に資する説明資料を業務中も携帯できるポケットサイズで作成、展開



ヘパリング (運動と栄養)



表面に目標回数を記入、QRコードで動画をみながら運動を行う裏面は運動を行った日付を記載

E. 結論

(1) それぞれの地域特性も鑑みながら肝Co等の人材育成における適切な養成方法や配置、効果的な活動の方策や配置や効果的な活動においては2次医療圏等をひとつの単位として評価し、推進することが有意義であった。(2) 職種別、配置場所別の知識面・活動度合等の質的な評価方法の策定と現場における実際の評価に応じた改善策を明らかにすることで、活動評価のための肝Coフォローアップシステムの開発を目指した。(3) ウイルス性肝疾患のみならず非ウイルス性の肝疾患の増加している現状も踏まえて肝疾患のトータルケアに資する人材育成を進めた。

F. 政策提言および実務活動

令和3年5月の厚生労働省肝炎対策推進協議会および同年7月の国立国際医療研究センター拠点病院等連絡協議会医師向け研修会、令和3年第57回、4年第58回日本肝臓学会総会、令和4年公益財団法人 宮川庚子記念研究財団研修会、令和4年国立感染症研究所肝炎ウイルスセミナー、日本消化器病学会総会、支部例会等で提言した。

G. 研究発表

1. 発表論文

1. Eguchi Y. [The way of leading new subjects to antiviral treatment in Japan]. *Nihon Shokakibyō Gakkai Zasshi*. 2022;119(9):821-829. Japanese.
2. Isoda H, Eguchi Y, Takahashi H. Hepatitis medical care coordinators: Comprehensive and seamless support for patients with hepatitis. *Glob Health Med*. 2021 Oct 31;3(5):343-350.

3. Yamamura S, Kawaguchi T, Nakano D, Tomiyasu Y, Yoshinaga S, Doi Y, Takahashi H, Anzai K, Eguchi Y, Torimura T. Prevalence and Independent Factors for Fatty Liver and Significant Hepatic Fibrosis Using B-Mode Ultrasound Imaging and Two Dimensional-Shear Wave Elastography in Health Check-up Examinees. *Kurume Med J*. 2021 Dec 15;66(4):225-237.
4. Eguchi Y, Isoda H, Takahashi H. Regional Program to Reduce Liver Cancer Associated With Viral Hepatitis B: Comprehensive Approach Corroborating With the Media and Regional Government to Improve Population Screening Rate in Saga Prefecture. *Clin Liver Dis (Hoboken)*. 2021 May 1;17(4):309-311.
5. Takahashi H, Nakahara T, Kogiso T, Imajo K, Kessoku T, Kawaguchi T, Ide T, Kawanaka M, Hyogo H, Fujii H, Ono M, Kamada Y, Sumida Y, Anzai K, Shimizu M, Torimura T, Nakajima A, Tokushige K, Chayama K, Eguchi Y; Japan Study Group of NAFLD (JSG - NAFLD). Eradication of hepatitis C virus with direct-acting antivirals improves glycemic control in diabetes: A multicenter study. *JGH Open*. 2020 Dec 19;5(2):228-234.
6. Kawata N, Takahashi H, Iwane S, Inoue K, Kojima M, Kohno M, Tanaka K, Mori H, Isoda H, Oeda S, Matsuda Y, Egashira Y, Nojiri J, Irie H, Eguchi Y, Anzai K. FIB-4 index-based surveillance for advanced liver fibrosis in diabetes patients. *Diabetol Int*. 2020 Jul 9;12(1):118-125.
7. Murayama K, Okada M, Tanaka K, Inadomi C, Yoshioka W, Kubotsu Y, Yada T, Isoda H, Kuwashiro T, Oeda S, Akiyama T, Oza N, Hyogo H, Ono M, Kawaguchi T, Torimura T, Anzai K, Eguchi Y, Takahashi H. Prediction of Nonalcoholic Fatty Liver Disease Using Noninvasive and Non-Imaging Procedures in Japanese Health Checkup Examinees.

- Diagnostics (Basel). 2021 Jan 16;11(1):132.
8. Araki N, Takahashi H, Takamori A, Kitajima Y, Hyogo H, Sumida Y, Tanaka S, Anzai K, Aishima S, Chayama K, Fujimoto K, Eguchi Y. Decrease in fasting insulin secretory function correlates with significant liver fibrosis in Japanese non-alcoholic fatty liver disease patients. *JGH Open*. 2020 Jun 9;4(5):929-936.
 9. Eguchi Y, Wong G, Lee EI, Akhtar O, Lopes R, Sumida Y. Epidemiology of non-alcoholic fatty liver disease and non-alcoholic steatohepatitis in Japan: A focused literature review. *JGH Open*. 2020 May 5;4(5):808-817.
 10. Eguchi Y, Wong G, Lee IH, Akhtar O, Lopes R, Sumida Y. Hepatocellular carcinoma and other complications of non-alcoholic fatty liver disease and non-alcoholic steatohepatitis in Japan: A structured review of published works. *Hepatol Res*. 2021 Jan;51(1):19-30.
 11. Tokushima Y, Tago M, Tokushima M, Katsuki NE, Iwane S, Eguchi Y, Yamashita S. Management of Hepatitis B Surface Antigen and Hepatitis C Antibody-Positive Patients by Departments Not Specializing in Hepatology at a Suburban University Hospital in Japan: A Single-Center Observational Study. *Int J Gen Med*. 2020 Oct 1;13:743-750.
 12. Takahashi H, Eguchi Y. What Can Be Done to Address the Exhaustive Referral of Patients with Viral Hepatitis to Specialists? *Intern Med*. 2021 Feb 1;60(3):323-324.
 13. Yamamura S, Nakano D, Hashida R, Tsutsumi T, Kawaguchi T, Okada M, Isoda H, Takahashi H, Matsuse H, Eguchi Y, Sumida Y, Nakajima A, Gerber L, Younossi ZM, Torimura T. Patient-reported outcomes in patients with non-alcoholic fatty liver disease: A narrative review of Chronic Liver Disease Questionnaire-non-alcoholic fatty liver disease/non-alcoholic steatohepatitis. *J Gastroenterol Hepatol*. 2021 Mar;36(3):629-636.
 14. Eguchi Y, Wong G, Akhtar O, Sumida Y. Non-invasive diagnosis of non-alcoholic steatohepatitis and advanced fibrosis in Japan: A targeted literature review. *Hepatol Res*. 2020 Jun;50(6):645-655.
 15. Okada M, Oeda S, Katsuki N, Iwane S, Kawaguchi Y, Kawamoto S, Tomine Y, Fukuyoshi J, Maeyama K, Tanaka H, Anzai K, Eguchi Y. Recommendations from primary care physicians, family, friends and work colleagues influence patients' decisions related to hepatitis screening, medical examinations and antiviral treatment. *Exp Ther Med*. 2020 Apr;19(4):2973-2982.
 16. Inadomi C, Takahashi H, Ogawa Y, Oeda S, Imajo K, Kubotsu Y, Tanaka K, Kessoku T, Okada M, Isoda H, Akiyama T, Fukushima H, Yoneda M, Anzai K, Aishima S, Nakajima A, Eguchi Y. Accuracy of the Enhanced Liver Fibrosis test, and combination of the Enhanced Liver Fibrosis and non-invasive tests for the diagnosis of advanced liver fibrosis in patients with non-alcoholic fatty liver disease. *Hepatol Res*. 2020 Jun;50(6):682-692.
 17. Oeda S, Takahashi H, Imajo K, Seko Y, Ogawa Y, Moriguchi M, Yoneda M, Anzai K, Aishima S, Kage M, Itoh Y, Nakajima A, Eguchi Y. Accuracy of liver stiffness measurement and controlled attenuation parameter using FibroScan M/XL probes to diagnose liver fibrosis and steatosis in patients with nonalcoholic fatty liver disease: a multicenter prospective study. *J Gastroenterol*. 2020 Apr;55(4):428-440.
 18. Yamamura S, Kawaguchi T, Nakano D, Tomiyasu Y, Yoshinaga S, Doi Y, Takahashi H, Anzai K, Eguchi Y, Torimura T, Shiba N. Profiles of

advanced hepatic fibrosis evaluated by FIB-4 index and shear wave elastography in health checkup examinees. Hepatol Res. 2020 Feb;50(2):199-213.

19. Isoda H, Oeda S, Takamori A, Sato K, Okada M, Iwane S, Takahashi H, Anzai K, Eguchi Y, Fujimoto K. Generation Gap for Screening and Treatment of Hepatitis C Virus in Saga Prefecture, Japan: An Administrative Database Study of 35,625 Subjects. Intern Med. 2020 Jan 15;59(2):169-174.

2. 学会発表

1. 佐藤圭, 倉永政男, 松本美さと, 山元透江, 小平俊一, 黒木茂高, 江口有一郎, 磯田広史, 原なぎさ, 矢田ともみ, 川口巧, 江口尚久, 高橋宏和. 肝炎医療コーディネーターである理学療法士による運動療法支援において「ヘパリング」は有効なツールである. 日本消化器病学会九州支部例会・日本消化器内視鏡学会九州支部例会プログラム・抄録集120回・114回 Page93(2022. 12)
2. 矢田ともみ, 磯田広史, 松本美さと, 田中留奈, 原なぎさ, 井上香, 高橋宏和, 江口有一郎. 職種の強みを生かした肝炎医療コーディネーター活動を目指して. 日本消化器病学会九州支部例会・日本消化器内視鏡学会九州支部例会プログラム・抄録集120回・114回 Page92(2022. 12)
3. 今泉龍之介, 磯田広史, 田中留奈, 矢田ともみ, 江口有一郎, 高橋宏和. 介護支援専門員の強みと機会を活かした肝炎対策. 日本消化器病学会九州支部例会・日本消化器内視鏡学会九州支部例会プログラム・抄録集120回・114回 Page92(2022. 12)
4. 平川美智子, 田中薫, 藤川ありさ, 原なぎさ, 松岡直子, 松本美さと, 山元透江, 福田裕子, 佐藤圭, 大島瑛子, 宮原千賀, 蒲池紗央里, 小平俊一, 江口有一郎, 黒木茂高, 高橋宏和, 江口尚久. 多職種から構成される肝Coによる栄養相談件数増加プロジェクト. 日本消化器病学会九州支部例会・日本消化器内視鏡学会九州支部例会プログラム・抄録集120回・114回 Page91(2022. 12)
5. 松竹春奈, 松本美さと, 山元透江, 矢田ともみ, 右近麻衣子, 水田美佐枝, 平川美智子, 佐藤圭, 大島瑛子, 常陸真理子, 大藪雅美, 松岡直子, 江口有一郎, 黒木茂高, 江口尚久, 高橋宏和. 医療法人の全職種からなる肝炎医療コーディネーターで取り組んだ世界肝炎デー2022 規模やレベルを求めないコロナ禍でもできた中小病院での活動に必要な2つの基盤. 日本消化器病学会九州支部例会・日本消化器内視鏡学会九州支部例会プログラム・抄録集120回・114回 Page89(2022. 12)
6. 江口眞子, 磯田広史, 高橋宏和, 江口有一郎. 拠点病院の医学生が始める肝炎医療コーディネーター活動. 日本消化器病学会九州支部例会・日本消化器内視鏡学会九州支部例会プログラム・抄録集120回・114回 Page89(2022. 12)
7. 柴山薫, 古島智恵, 坂美奈子, 坂本貴子, 矢田ともみ, 江口有一郎, 高橋宏和. 肝炎医療コーディネーターの経験を生かした取り組み 実践から研究へ. 日本消化器病学会九州支部例会・日本消化器内視鏡学会九州支部例会プログラム・抄録集120回・114回 Page88(2022. 12)
8. 江口眞子, 磯田広史, 高橋宏和, 江口有一郎. 拠点病院の医学生が始める肝炎医療コーディネーター活動. 日本消化器病学会九州支部例会・日本消化器内視鏡学会九州支部例会プログラム・抄録集120回・114回 Page87(2022. 12)
9. 今泉龍之介, 磯田広史, 田中留奈, 矢田ともみ, 江口有一郎, 高橋宏和. 介護支援専門員の強みと機会を活かした肝炎対策. 日本消化器病学会九州支部例会・日本消化器内視鏡学会九州支部例会プログ

- ラム・抄録集 120回・114回
Page87(2022.12)
10. 江口有一郎, 中島淳, 米田正人. NASHの本態に迫る NAFLD/NASH患者に対する選択的PPAR α モジュレーター(SPPARM α)ペマフィブラートの脂質代謝に及ぼす影響. 肝臓 (0451-4203)63 巻 Suppl.2 Page A502(2022.09)
 11. 江口有一郎. 治療法の再整理とアップデートのために専門家による私の治療 非アルコール性脂肪肝炎(NASH). 日本医事新報(0385-9215)5144号 Page41(2022.11)
 12. 江口有一郎. 【ウイルス肝炎診療の現状と課題】わが国におけるウイルス肝炎の拾い上げの現状と課題. 日本消化器病学会雑誌 (0446-6586)119巻9号 Page821-829(2022.09)
 13. 河野豊, 吉田純一, 原田文也, 植原治, 安彦善裕, 永易裕樹, 舞田建夫, 川上智史, 江口有一郎. ヒト型ロボットPepperを用いた肝炎ウイルス検査受検推奨の効果検証. 肝臓 (0451-4203)63巻8号 Page388-391(2022.08)
 14. 江口有一郎. 佐賀県における肝がん粗死亡率ワースト1位の返上に寄与した地域ぐるみの肝炎・肝がん対策「佐賀方式」. 肝臓 (0451-4203)63巻8号 Page356-371(2022.08)
 15. 尾崎岩太, 矢野洋一, 有尾啓介, 大座紀子, 河口康典, 川添聖治, 井手康史, 柳田公彦, 佐藤正明, 川副広明, 安武努, 犬塚貞孝, 水田敏彦, 中山利浩, 磯田広史, 江口有一郎, 島正義, 高橋宏和, 平井賢治, 佐賀県医師会肝癌対策医会. 佐賀県における肝疾患対策の検証. 肝臓(0451-4203)63巻Suppl.1 Page A283(2022.04)
 16. 川久保愛, 清水安子, 江口有一郎. 肝炎医療コーディネーターの強みを活かした看護研究 非代償性肝硬変患者に対する支援の方策を探る. 肝臓(0451-4203)63巻 Suppl.1 Page A238(2022.04)
 17. 原なぎさ, 矢田ともみ, 井上香, 大枝敏, 磯田広史, 江口有一郎, 高橋宏和. 非アルコール性脂肪性肝疾患に対する地域全体での栄養サポートを目指した取り組み. 肝臓 (0451-4203)63 巻 Suppl.1 Page A234(2022.04)
 18. 山本晴菜, 江口有一郎, 矢田ともみ, 大谷綾, 中筋幸司, 上野聖子, 平井香恵, 志原拓磨, 高嶋智之, 藤本康弘, 鄭浩柄, 金秀基, 多田俊史, 室井延之, 山本宗男, 米澤敦子, 飯島尋子, 兵庫県健康福祉部感染症等対策室疾病対策課がん・難病対策班. 二次医療圏を単位とした自治体、拠点病院、肝炎医療コーディネーターの配置と活動 肝疾患診療ネットワーク構築「Hモデル」の構築の基盤として. 肝臓 (0451-4203)63 巻 Suppl.1 Page A233(2022.04)
 19. 上野聖子, 多田俊史, 中村進一郎, 平井香恵, 横田由美子, 谷内美春, 谷川真由美, 笹野優子, 大里勇二, 江口有一郎, 飯島尋子. 院内そして地域に根ざした肝炎医療コーディネーターの取り組み. 肝臓 (0451-4203)63 巻 Suppl.1 Page A224(2022.04)
 20. 山本晴菜, 江口有一郎, 矢田ともみ, 大谷綾, 中筋幸司, 上野聖子, 平井香恵, 志原拓磨, 高嶋智之, 藤本康弘, 鄭浩柄, 金秀基, 多田俊史, 室井延之, 山本宗男, 米澤敦子, 飯島尋子, 兵庫県健康福祉部感染症等対策室疾病対策課がん・難病対策班. 二次医療圏を単位とした自治体、拠点病院、肝炎医療コーディネーターの配置と活動 肝疾患診療ネットワーク構築「Hモデル」の構築の基盤として. 肝臓 (0451-4203)63 巻 Suppl.1 Page A219(2022.04)
 21. 米澤敦子, 江口有一郎, 飯島尋子. 肝炎医療コーディネーター養成研修会の企画・実施における患者会の協働 日本消化器病学会雑誌 118巻臨増総会 A265. 2021

22. 江口有一郎, 中村祐子, 村上礼子. 多職種から構成される肝炎医療コーディネーターの活動の基盤となる「肝炎医療コーディネーターフィロソフィ」日本消化器病学会雑誌 118巻臨増総会 A263. 2021
23. 矢田ともみ, 井上 香, 磯田 広史, 大枝敏, 江口 有一郎, 高橋 宏和. LINEによる肝炎医療コーディネーターの活動支援. 日本消化器病学会雑誌 118巻臨増総会 A263. 2021
24. 磯田広史, 高橋宏和, 江口有一郎. 肝癌のハイリスク患者地域、職域、院内での拾い上げ. 佐賀県における肝炎患者の診療連携に関する調査結果と今後の対策. 日本消化器病学会雑誌 118巻臨増総会 A213. 2021
25. 江口有一郎, 中村祐子, 村上礼子, 江口尚久. 「肝炎医療コーディネーターフィロソフィ」と「相互活動賞賛システム」は多職種から構成される肝炎医療コーディネーターの活動の基盤となる. 肝臓62巻 Suppl.1 Page A250. 2021
26. 米澤敦子, 江口有一郎, 矢田ともみ, 飯島尋子. 肝炎医療コーディネーター養成研修会における患者会、自治体参画の事例検討パネルディスカッションの意義. 肝臓62巻Suppl.1 Page A245. 2021
27. 磯田広史, 高橋宏和, 江口有一郎: C型肝炎治療—全例治癒のために残された課題—C型肝炎全例 治癒に向けた佐賀県の肝疾患診療連携における残された課題. 第106回日本消化器病学会総会. 2020, 8, 11 - 31 (Web オンデマンド配信). 抄録集: A83.
28. 井出達也, 江口有一郎, 原田 大, 磯田広史, 本間雄一, 有永照子, 桑原礼一郎, 天野恵介, 川口 俊弘, 佐野有哉, 鳥村拓司: 高齢者C型肝炎患での DAA 治療 SVR 例の発癌についての検討— propensity score matching を用いた検討も含めて—. 第56回日本肝臓学会総会. 2020, 8, 28 - 29 (LIVE 配信), 2020, 9, 10 - 10, 9 (オンデマンド配信). 抄録集: A469.
29. 大枝 敏, 高橋宏和, 今城健人, 相島慎一, 鹿毛政義, 伊藤義人, 中島 淳, 江口有一郎: Fibro Scan を用いた肝硬度および controlled attenuation parameter の M/XL プローブ間の比較. 第56回 日本肝臓学会総会. 2020, 8, 28 - 29 (LIVE 配信), 2020, 9, 10 - 10, 9 (オンデマンド配信). 抄録集: A368.
30. 大枝 敏, 安藤 彩, 窪津祥仁, 田中賢一, 岡田倫明, 高橋宏和, 江口有一郎: Shear wave measurement における VsAll の優位性. 日本超音波医学会第93回学術集会. 2020, 12, 1 - 3 (web 開催), 12, 1 - 6 (単位取得のための視聴期間), 12, 1 - 2021, 1, 14 (オンデマンド配信). 抄録—6— 集: S 167.
31. 岡田倫明, 高橋宏和, 田中賢一, 安西慶三, 江口有一郎: 各種の脂肪肝予測パネルによる NAFLD 診断: 日本人における validation study. 第56回日本肝臓学会総会. 2020, 8, 28 - 29 (LIVE 配信), 2020, 9, 10 - 10, 9 (オンデマンド配信). 抄録集: A453.
32. 河田望美, 岸川まり子, 三角優莉奈, 愛川可南子, 井上佳奈子, 森 仁恵, 小島基靖, 河野倫子, 高橋宏和, 江口有一郎, 安西慶三: 糖尿病患者における肝線維化を判定するための Fib-4 Index を用いたカットオフ値の設定. 第63回日本糖尿病学会年次学術集会. 2020, 10, 9 - 11 (LIVE 配信), 2020, 10, 5, 9 - 11 (Webinar (共催セミナー)), 2020, 10, 5 - 16 (オンデマンド配信). 抄録 集: I C5 - 25 - 3.
33. 田中賢一, 高橋宏和, 江口有一郎: NASH 肝線維化モデルマウスにおける運動のインパクト. 第 56回日本肝臓学会総会. 2020, 8, 28 - 29 (LIVE 配信), 2020, 9, 10 - 10, 9 (オンデマンド配信). 抄録

集：A320.

34. 田中賢一，高橋宏和，北島陽一郎，尾崎岩太，江口有一郎，安西慶三：2型糖尿病における liraglutide による脂肪減少効果とメカニズム．第63回日本糖尿病学会年次学術集会．2020，10，9 - 11（LIVE配信），2020，10，5，9 - 11（Webinar（共催セミナー）），2020，10，5 - 16（オンデマンド配信）．抄録集：III W4 - 160 - 2.
35. 田中賢一，高橋宏和，安西慶三，江口有一郎：NASH 肝癌モデルマウスにおける運動効果．JDDW2020．2020，11，5 - 8．抄録集：A687.

3. その他

1. 肝炎医療コーディネーターポケットマニュアル（第2版）
2. 肝炎医療Co活動事例集「肝炎医療コーディネーターこれだけは」電子ブック
3. 第57回日本肝臓学会総会メディカルスタッフセッション記録集
4. 第58回日本肝臓学会総会メディカルスタッフセッション記録集
5. 肝炎医療コーディネーター職種別マニュアル
6. ポケヘパ
7. ヘパリング

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし